



①メッセージをじっくり読みながら貼る大翔くん。②大竹手すき和紙の存続を願うメッセージも。③友達とのメッセージを見つけてうれしそう。④自分の書いたメッセージと認定証とハンチャリ。

日本記録認定協会認定員の計測の結果、基準値の15平方メートルを超える16.887平方メートルで見事日本記録に認定され、みんなでクラッカーを鳴らしてお祝いしました。「みんなが協力して素敵なアートができた。うれしそうに話してくれた古賀大翔くん(小方小4)は、メッセージに「事故や犯罪のない楽しい大竹市」と書き、「これからも大竹に住みたい。10年後が楽しみ」と将来またこの鯉のぼりを見ることを楽しみにしているようでした。

大竹青年会議所の創立55周年記念事業として、10cm四方の大竹手すき和紙を貼り合わせた日本一巨大な和紙のモザイクアートを作成するという記録に挑戦しました。市内の小・中学生などから集まった約1700枚の和紙には、「家族や友達と平和に暮らせる町」や「笑顔いっぱいの大竹市になってほしい」など「10年後の大竹市に向けてのメッセージ」が書かれています。集まった和紙を鯉の形に見立てた長い台紙に貼り付けて巨大な鯉のぼりが完成。

総合市民会館

11/26 SUN

大竹手すき和紙を使って日本記録に挑戦



イモは丸々、笑顔も〇〇

栗谷町小栗林

玖波公民館事業参加者で6月に植えたサツマイモの収穫に、約150人の家族連れが参加し、丸々と育ったイモを掘りました。子どもたちが土を掘り返し、力を込めてツルを引っ張ると、何個もくっついたイモが顔をのぞかせます。家族6人で参加した齋藤 睦さん(大竹小6)は「家に畑があっておばあちゃんが植えているので毎年掘っています。今日は50個くらい掘りました」と、イモ掘りは得意なようです。蒸したイモを振る舞う上野克己さん(栗谷町後原)は「栗谷に来てイモ掘りをしたのが、ええ思い出になるじゃろう」と目を細めていました。

11/19 SUN



イモ掘りは玖波公民館と岩国市小瀬分館(公民館)とが共同で行った事業。休耕田に植えた「安納イモ」や「紅はるか」を掘り当て大満足。アルミホイルに包んだイモを蒸しました。



“平和なまち”を描いて優秀賞受賞

井上 珠宇さん(大竹中2年)

—19カ国115都市4766作品(11歳~15歳の部2230作品)から選ばれる—

問い合わせ 企画財政課 ☎59-2125



平和首長会議が実施した「子どもたちによる平和なまち」絵画コンテスト2023の11歳~15歳の部で、大竹中学校2年の井上珠宇さんが、優秀賞を受賞しました。井上さんは、「平和の白いハトを大きくかき、原爆ドームへ向かっているため、平和がつづいてほしい」という願いを込めて描いたそうです。



11月21日 下瀬美術館で令和5年10月1日から1月14日(日)まで開催中の企画展『四谷シモンと金子国義—あどけない誘惑』は、来場者1万人に到達。1万人目の盛田隆さん(70歳)に谷藤史彦副館長から記念品が手渡されました。盛田さんは、妻の陽子さん(65歳)と山口県から訪れました。「金子さんの絵の不思議な感じ、色使い、目つきの鋭さ、そして四谷さんの人形の目の輝き、見つめ方などすごい存在感だった」と圧倒された様子。陽子さんは、「(美術館の)空間が広いのが素敵。海が近くて開放感がある」と建物や景色にも感銘を受けたようです。



12月4日 玖波中学校の卒業生で、6月の陸上日本選手権女子800mで優勝した池崎愛里さん(25歳)を母校に招き、「夢・目標への挑戦」と題した講演に後輩たちは耳を傾けました。中学では陸上部やクラブチームで力をつけ、舟入高校から順天堂大学に進み、現在はダイソーに所属しています。「夢や目標を持つと行動に責任が持て自信につながる」。今も新たな目標に向かって日々努力していることを伝えました。講演を終え「自分も夢の実現に向けての途中。大きなことは言えませんが、何かしら頑張っている人がいると少しでも思ってくれたらうれしい」と話していました。中学校で使っていた自分の名前入りの椅子も倉庫から見つかり、うれしそうな池崎さんでした。



11月25日 玖波公民館で催された恒例の「ポリスフェスティバル・インKUBA」に約250人が訪れ、会場内に設置された各種交通安全機器を体験する姿が見られました。左右の車の通行を確認して横断するシミュレーションを体験した高齢者は「横断歩道を渡るタイミングが難しかった」と、感想を聞かせてくれ、「実際の道路でも横断歩道で止まってくれない車もありますよ」。そうこぼしていました。お待ちかねの県警音楽隊は、数々の名曲を演奏する中で、金ピカの衣装で『マツケンサンバII』を指揮する姿や、ザ・ドリフターズの『8時だヨ!全員集合』でおなじみの曲、『ヒゲダンス』『いい湯だな』で会場を沸かせてくれました。『ジャンボリミッキー』の曲に合わせて、ステージ前で中学生たちも一緒にダンスを披露したりと、にぎやかな催しでした。



「上3校会場を盛り上げる県警音楽隊(上)光を捉える反射神経診断の機器(右)ロビーでピアノ演奏に挑戦。」